

高校生 ICT Conference 2015

高校生 ICT Conference 2015 サミット
言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

2015年11月3日（火・祝）

【会場】東京 ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

総務省、文部科学省、内閣府、経済産業省

目 次

1. 開催概要.....	1
2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催.....	3
3. 高校生 ICT Conference 2015 サミット 開催概要.....	4
4. 主担当.....	7
5. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	7

1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2015</p> <p>テーマ</p> <p>言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！</p> <p>～ 高校生のボクたちだから ～</p> <p>第1部「大人のルール&マナー」</p> <p>第2部「大人が作った子供のルール&マナーを考える」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生 ICT Conference 実行委員会 (構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会) ● 長野教育委員会 (長野のみ) ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 (福岡のみ) ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 (大分のみ) ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム (神奈川のみ)
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、帝塚山大学 (奈良のみ)、</p> <p>大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会 (大分のみ)、</p> <p>神奈川県教育委員会 (神奈川のみ)</p>
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会、社団法人せんだんの会</p>
協賛：	<p>株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研</p>
協力：	<p>アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ (順不同)</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p>

	<p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>2015年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡、東北を加え、地域を拡大して開催します。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評</p> <p>・第二部 「大人が作った子供のルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表</p> <p>【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p>
各開催地募集人員等：	募集参加生徒 30名 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）

参加・参観 方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 2015 実行委 員会：	【委員長】 <ul style="list-style-type: none"> 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 <ul style="list-style-type: none"> 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	第 1 回	第 2 回	会場
地域 開催	北海道	2015 年 9 月 27 日（日）	2015 年 10 月 18 日（日）	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	石川	2015 年 9 月 13 日（日）	—	金沢商工会議所
	長野	2015 年 9 月 5 日（土）	2015 年 10 月 3 日（土）	松本駅前会館
	東京	2015 年 10 月 11 日（日）	—	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2015 年 10 月 4 日（日）	—	岩崎学園
	大阪	2015 年 7 月 25 日（土）	2015 年 9 月 20 日（日）	① 内田洋行 ②大阪私学会館
	奈良	2015 年 7 月 26 日（日）	—	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	福岡	2015 年 9 月 12 日（土）	—	ガスホール
	大分	2015 年 8 月 29 日（土）	—	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
サミット		2015 年 11 月 3 日（火・祝）	13:15～17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
最終報告会		2015 年 12 月 9 日（水）		内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省

3. 高校生 ICT Conference 2015 サミット 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など約 110 名の参加者を得て、「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～ 高校生のボクたちだから ～」をテーマに、高校生 ICT Conference 開催各地域からのそれぞれ代表者 1 名と、今年度は沖縄、福井からの招待参加を含め、合計 11 名の高校生が、各開催地の結果を持ち寄り、最終提言をまとめるための熟議を行いました。</p> <p>司会進行・主旨説明 羽衣学園高等学校 米田 謙三 先生</p> <p>まず全体の進行役の羽衣学園高等学校 米田 謙三 先生より本日の大まかな流れとこれまでの主旨を説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 佐野 究一郎様</p> <p>「これからは、IoT でモノもインターネットに繋がり、世の中のものがデジタル化され、例えば自動運転車が登場するなど、人工知能で制御されていく時代になります。</p> <p>一方でいろいろ負の面も出てきています。</p> <p>プライバシーの問題や、システムがハッキングされて情報が漏れたりシステムが誤動作したりする可能性もある中、利用者のモラルも大事だと思っています。</p> <p>IT が進む中で利用者として自らモラルを作っていくって、多くの人にどのように守ってもらうかということを議論していただき、提言していただければと思います。」</p> <p>総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 データ通信課長 吉田 正彦 様 一般財団法人 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 代表理事 安田 浩 様</p> <p>開会の挨拶では、本日の高校生の議論、そして最終報告会での提言に対しての期待のお言葉をいただきました。</p> <p>第一部：グループ熟議 「高校生のボクたちだから言いたい！イマドキのネットのルール&マナーについて考えよう」</p> <p>【各開催地域代表生徒の自己紹介・各開催地域の熟議の報告】</p> <p>まず、アイスペイクとして参加メンバーの自己紹介を兼ねた各地域の熟議の報告を以下の順番にてそれぞれ 4 分間で行ないました。プレゼンテーションソフトを駆使して、個性豊かな報告がおこなわれました。</p> <ul style="list-style-type: none">①北海道札幌東豊高等学校 1年 女子②栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子③鎌倉女学院高等学校 1年 女子
----	---

- ④石川県立七尾高等学校 2年 女子
- ⑤長野県明科高等学校 3年 男子
- ⑥羽衣学園高等学校 3年 女子
- ⑦奈良県立奈良朱雀高等学校 2年 男子
- ⑧福岡県立香椎高等学校 2年 男子
- ⑨大分県立大分雄城台高等学校 2年 女子
- ⑩福井県立科学技術高等学校 3年 男子（招待参加）
- ⑪沖縄県立那覇国際高等学校 2年 女子（招待参加）

高校生たちも最初は緊張していましたが、だんだんと和やかになってきました。

休憩

【グループ熟議・提言資料作成】

今回のグループ熟議は3つのセッションに分けておこなわれました。

第1のセッションでは11名の高校生が3つのグループに分かれ、「大人のルール&マナー」について考えていきました。

続く第2のセッションでは2つのグループになり、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに意見を出し合っていました。

最後のセッションは11名がひとつになって、最終発表「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～高校生のボクたちだから～」に向けた議論を深めていきました。

そして、これまでの議論を振り返りながら、お互いに役割分担を決めてその内容をプレゼンテーションソフトにまとめ、発表方法も自分たちで考えて決めていきました。

※第一部の「グループ熟議」の詳細は「高校生 ICT Conference2015 サミット 熟議録」をご参照ください。

第二部：提言発表

【(1)提言発表】

制限時間のあるなか、11名で上手に発表してくれました。

《発表内容》

タイトルは「高校生の私たちだから出来るサイクル」です。

まず、これまでの大人が作ったルール&マナーは、本質が理解できず、皆が納得できないものになっていることが挙げられました。

そこで、ルールやマナーを実体験によって理解するために、詐欺サイト体験アプリや動画、カリキュラムへの取り入れなどを通して、身をもってルールの存在意義

	<p>を知り、納得するための取り組みが必要であると訴えていました。</p> <p>そんな、体験・意識・納得・発信からなるサイクルこそが、高校生の私たちにとってできることだと訴え、発表を締めくくりました。</p> <p>【(2)講評】</p> <p>株式会社 KDDI 研究所 研究主査 齋藤 長行 様</p> <p>情報モラルに対する考えも交えながら、「高校生の立場から発信して主体的な立場からアクションを起こして、体験、意識、納得、発信のサイクルを作ろうとするのが伝わってきた。</p> <p>みなさんがコミットメント（約束）できるような場を作ることが重要です。高校生 ICT カンファレンスと言いながら、大人の勉強にもなったと思います。」と、本日の熟議でのやり取りや発表に関して丁寧な講評、コメントをいただきました。</p> <p>【(3)集合写真撮影】</p> <p>最後に全体で集合写真を撮影しました。</p> <p>今回の参加メンバーから、12月9日の内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」、総務省、文部科学省、経済産業省での最終報告会に参加する代表2名を選出して、高校生 ICT Conference2015 サミットを終了しました。</p> <p>代表校は以下の通りとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽衣学園高等学校 3年 女子 ・福岡県立香椎高等学校 2年 男子
参加校：	<p>[北海道] 北海道札幌東豊高等学校</p> <p>[東京] 栃木県立宇都宮北高等学校</p> <p>[神奈川] 鎌倉女学院高等学校</p> <p>[石川] 石川県立七尾高等学校</p> <p>[長野] 長野県明科高等学校</p> <p>[大阪] 羽衣学園高等学校</p> <p>[奈良] 奈良県立奈良朱雀高等学校</p> <p>[福岡] 福岡県立香椎高等学校</p> <p>[大分] 大分県立大分雄城台高等学校</p> <p>[沖縄] 沖縄県立那覇国際高等学校（招待参加）</p> <p>[福井] 福井県立科学技術高等学校（招待参加）</p>
日 時：	2015年11月3日（火・祝）13:15-17:00
場 所：	<p>東京ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）</p> <p>東京都中央区新川 2-4-7</p>
参加人数：	<p>熟議参加生徒 11人</p> <p>見学者 98人（教員・教育関係者・その他）</p> <p>合計：109人</p>

4. 主担当

大阪私学情報教育化研究会	米田	司会進行
安心ネットづくり促進協議会	白戸 他	事務局、庶務
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構	清水、野沢 他	庶務
一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会	吉岡、工藤	庶務
各地協力団体、事業者等		挨拶、ファシリテーター、書記、講評 他
内田洋行	佐藤、眞鍋	会場設営、機材準備等

(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省

